

今期のインフルエンザワクチンの供給状況等について

1 今シーズンの製造予定量

- 需要予測量：2,771.1～2,798.3万本程度（以下、「1本1ml換算」。）
 - 製造予定量：約2,860万本（約5,720万回分）（H23.10.31時点）
- ※1回分は、健康成人1人分の接種量に相当

〔 昨シーズン製造量：2,928万本
うち未使用量：約482万本 〕

- * 厚生労働省では、各製造販売業者に対して、一定量（15万本）のワクチンを、不足時の融通用として市場出荷せずに、一定期間確保しておくよう要請している。

2 県内への供給状況

- (1) 今シーズンに各製造業者等から医薬品卸売業者への納入予定数量（H24.1月15日末時点）
285,683本（前年使用実績比較 約120%）
医薬品卸売業者から医療機関等への納入数量（H24.1月15日末時点）
253,414本（前年使用実績比較 約106.1%）

- * 各都道府県には、過去の供給実績や人口比などに応じて配分
- * 県から医薬品卸売業者に対し、安定供給を確保するために医療機関への一括納入を避け、分割納入の実施を依頼。また、公的病院長及び県・郡市医師会長に対し、返品を前提とした注文及び在庫管理を差し控えるとともに、冷静な対応を依頼。

【季節性インフルエンザワクチン供給数量推移（平成18年度～22年度）】

		富山県	全国
22年度	使用数量	238,791本	2,446万本
	使用数量/人口100人	21.84本	19.11本
	高齢者接種率	61.5%	53.1%
21年度	使用数量	205,856本	2,039万本
	使用数量/人口100人	18.80本	15.99本
	高齢者接種率	59.8%	49.7%
20年度	使用数量	248,484本	2,451万本
	使用数量/人口100人	22.57本	19.19本
	高齢者接種率	66.43%	55.90%
19年度	使用数量	232,784本	2,257万本
	使用数量/人口100人	21.05本	17.67本
	高齢者接種率	65.38%	54.66%
18年度	使用数量	199,060本	1,877万本
	使用数量/人口100人	17.93本	14.69本
	高齢者接種率	61.92%	50.15%

※ 21年度供給数量は、新型インフルエンザワクチン（国産）を除く（参考 新型ワクチン推定接種数2,283万回分）

抗インフルエンザウイルス薬について

1 抗インフルエンザウイルス薬の種類

販売名	製造販売業者	用 法	用 量	
タミフル	中外製薬	経口投与	カプセル	成人又は体重37.5kg以上の小児に1日2回、1回1カプセル、5日間
			シロップ	成人：1日2回、1回2.5g、5日間 小児：1日2回、66.7mg/体重1kg、5日間
リレンザ	グラクソ・スミスクライン	吸入	成人及び小児に1日2回、1回2ブリスター、5日間	
ラピアクタ	塩野義製薬	単回点滴	成人：300mgを単回点滴静注。 小児：1日1回10mg/kgを単回点滴静注 ※合併症等により重症化するおそれのある患者は、症状に応じて連日反復投与可能。	
イナビル	第一三共	単回吸入	成人・10歳以上の小児：40mgを 10歳未満の小児：20mgを 単回吸入	

ラピアクタ：平成22年1月から販売開始 イナビル：平成22年10月から販売開始

2 昨シーズン（2010/2011）における県内医薬品卸業者取扱数量実績

販売名	取扱数量
タミフル カプセル75	11,626人分
タミフル ドライシロップ	7,094人分
リレンザ	8,117人分
ラピアクタ	1,012人分
イナビル	21,041人分
計	48,890人分

3 今シーズン（2011/2012）における県内医薬品卸売業者 在庫数量推移（人分）

